

International Students are welcome to join this program!

## 博士前期課程 KIT+CMU 国際連携建築学専攻

- ◎ 建築設計学と都市・建築再生学を中心とした分野の共同教育プログラムです。
- ◎ 国際的に通用する建築計画・設計力、都市・建築の再生・リデザイン力を育み、総合的かつ論理的に思考する能力を養います。
- ◎ タイならではの文化的背景を踏まえた授業を英語で学修し、多様な民族・宗教から成る社会で異文化適応力を鍛えます。
- ◎ 建築需要の大きな東南アジア圏に身を置く経験は、将来建築業界で活躍する際に大きく資するものとなります。

Joint Degree / Architecture / Thailand



# チェンマイ大学

## ジョイント・ディグリー・プログラム

学生募集

本プログラムに参加するには、大学院博士前期課程 京都工芸繊維大学・チェンマイ大学国際連携建築学専攻への入学が必要です。

- 出願期間** 【3×3特別入試】2026年5月21日(木)～5月27日(水)  
【一般入試(第1期)】2026年7月13日(月)～7月21日(火)
- 試験実施日** 【3×3特別入試】2026年7月4日(土)  
【一般入試(第1期)】2026年8月19日(水)、20日(木)

**渡航期間** 2027年8月～2028年1月(予定)

**奨学金** 要件を満たす場合、KITグローバル人材育成プログラム奨学金に申請できます。最大月額110,000円×渡航月数、渡航費支援100,000円(変更の可能性あり)  
※奨学金の詳細についてはHP > 国際交流 > 海外留学 > 留学奨学金をご参照ください。



プログラムの詳細や  
留学スケジュールはこちらから！

[https://www.kit.ac.jp/edu\\_index/sg-science-and-technology-color/g-architecture\\_jd/](https://www.kit.ac.jp/edu_index/sg-science-and-technology-color/g-architecture_jd/)

### チェンマイ大学 Chiang Mai University

タイ北部の古都チェンマイにある1964年創立の国立大学です。タイのみならず、ASEAN北部地域における主要総合大学として、近隣諸国からも多数の留学生を受入れています。キャンパス内には本学オフィスがあり、医学部、理学部との交流も含め大学同士の連携体制が確立しており、安心して留学できます。



出願要件等、  
入学試験情報は  
こちらをご確認ください。

### 京都工芸繊維大学

国際連携建築学専攻長

高木真人 教授

入試課

大学院入試係

mtakagi@kit.ac.jp

innyushi@kit.ac.jp

KIT & CMU 国際連携建築学専攻 アカデミックカレンダー

学年	1年次												2年次																																					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4																									
京都工芸繊維大学の学生 [KIT]	時期	KITにて												CMUにて												KITにて																								
	場所	KITにて												CMUにて												KITにて																								
内容	専門科目を履修												共同開設科目の履修 (CMU) 国際共同設計実習A												共同開設科目の履修 (KIT) 国際共同設計実習B												専門科目を履修 【修了研究】 論文 or 特定課題に取り組む												学位授与	
	【連携専攻入学】																																				【連携専攻修了】													
チェンマイ大学の学生 [CMU]	時期	CMUにて												KITにて												CMUにて																								
	場所	CMUにて												KITにて												CMUにて																								
内容	専門科目を履修												共同開設科目の履修 (CMU) 国際共同設計実習A												共同開設科目の履修 (KIT) 国際共同設計実習B												専門科目を履修 【修了研究】 論文 or 特定課題に取り組む												学位授与 (1月)	
場所	CMUにて												KITにて												CMUにて																									
時期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	1																								
学年	1年次												2年次																																					

参加学生の声

ジョイント・ディグリーでの半年間のチェンマイ留学は、少人数制の環境の中で、普段とは異なる条件のもとで建築を考えることができる貴重な学びの時間でした。留学がプログラムとして組み込まれていることで、現地では授業や設計課題に集中して取り組むことができました。

授業では、タイ北部の建築を題材に、気候や生活と密接に結びついた空間構成について学びました。空き時間には街やキャンパスを巡りました。特に印象的だったのは半屋外空間の柔軟な使われ方で、雨季と乾季という季節の違いの中で、内と外の境界が状況に応じて変化していく様子を体感しました。

長く同じ環境で学んできた私にとって、場所や前提条件が大きく異なる中で建築に向き合う経験は、思考の幅を広げる大きな刺激となりました。この留学で得た視点は、帰国後の修士研究や設計にもつながっています。ジョイント・ディグリーは、建築を別の角度から捉え直してみたい人にとって、確かな学びのあるプログラムだと思います。

(2024年度生)

本プログラムでは、日本とは異なる気候と文化、生活を直に体感できたことが印象的でした。授業は、設計実習とリサーチ、講義形式のものが各一つで、自然環境に呼応する建築的工夫や伝統的建築からの学び、現代技術と伝統技術の統合手法など特徴ある内容でした。少人数クラスのため、日本での授業とは異なり、教員と直接意見交換できる機会も多いです。プログラムには授業だけではなく、遠足やフィールドトリップもあり、チェンマイのみならず周辺地域の暮らしに触れる機会もありました。

半年間の現地滞在では、大学内のみならず大学外の人との交流もあります。タイで知り合った友人達と、空き時間には街を歩いたりたくさんあるマーケットに出かけたりするなど自由に過ごせました。授業や友人との交流は、基本的に全て英語で行います。始めはハードルが高く感じましたが、回数を重ねるごとに話すことに慣れていきました。

授業だけでなく、日常生活でも色々な経験と体験が溢れているので、少しでも興味があれば挑戦してほしいです！

(2022年度生)

